

☆☆

☆☆

☆☆

◇九段会計通信 Vol.15のコンテンツ◇

- こんなときどうなる？身近な税務トピック
 - ・決算期変更で節税？編
- 温故知新な＜九段的ヒトコト＞
- 編集後記



≡ ■こんなときどうなる？身近な税務トピック

●決算期変更で節税？編

決算期変更により税額が大きく変わることがあります。例えば、7月決算の会社で、7月に臨時の巨額収入があるとする。この場合、その収入はその期の決算での申告になるため、税金が多額になる恐れがあります。しかしながら、もし事前に6月に決算期を変更していたとすれば、その収入は翌期での申告になるため、時間的に余裕があり対策を講じることができます。取引の日時をずらすことはできませんが、会計期間をずらすのはさほど難しいことはありません。会社は株主総会の決議を経て自由に決算期を変えることができるためです（決算期間は1年以内です）。税務署への手続きに期限はありませんが、通常申告書の提出時に一緒に行います。

決算期変更は、消費税関係や青色申請など、会社が有利になる届出を出し忘れたときにも有効です。これらの届出はタイミングを逃すと翌期まで効果が生じないケースもあるためです。この場合には、決算期変更の手続の時期が重要になってきますので、注意が必要です。

新設法人では消費税の免税期間の短縮など、決算期変更にはデメリットもあります。そのため、決算期変更をする際には多様な角度からの考察が必要となります。

いずれにせよ、イレギュラーな状況が生じましたら、
お早めにご相談いただければ幸いです。

メールマガジン編集担当 沼辺 勇樹



≡ ■ 温故知新な〈九段的ヒトコト〉

世の人はわれになにともゆはばいえ わがなすことはわれのみぞしる

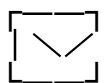
-坂本龍馬

「世間の人は、私に何とでも言えばいい。
私が考え・行うことは、私以外、誰にも分からない。」

周囲を気にし、事なかれ主義・出る杭は打たれる式で
ともすれば優秀な方が芽を出せないこともあると言われる昨今。
自分が正しいと思うことをする。したいことをする。
龍馬の強い意志は、誰になんと言われようと、
微塵もブレずにいたのでしょうか。
その強さが出ている一文だと感じました。

先日放送の「カンブリア宮殿」。孫正義社長との対談後の村上龍氏の言葉で、
思いが伝わるか否か、プレゼンの巧拙は「強い意志」にある、
といった類のものがありません。
強い意志が時代を変える。
これは昔から普遍なのでしょうか。

メールマガジン編集担当 新井 良平



≡ ■ 編集後記

先日(7月19日)、東京ドームに巨人×ヤクルト戦を見に行きました。
生でのスポーツ観戦はやはりワクワクします。
試合は、初回から巨人にエラーが出てしまい、
前日の負けを引きずっている様子。
それでも、2回裏に巨人が長野の3ランで3点リード、
もつかの間、すぐ3回表にヤクルトが4点入れて逆転、
さらに4回表に3点追加で7対3になってしまいました。
ヤクルトの打線がよかったというより、
巨人の集中力の無さが原因に見えました。
やっぱりエラーが出てしまうと、組織は崩れやすくなります。

しかし、6回裏に一拳7点を巨人が入れ、結局14対8で巨人の勝利。首位は守りました。

逆転できたのは、抑えきれない投手を早めに代えたのと、野手のエラーを打線で取り返せたことだと思います。特に、当たっている長野にチャンスでまわってきてしっかりチャンスに応えられたことだと思います。強いチームは、選手一人一人に勝てる自信が出てくるため負けていても勝ちを諦めず頑張れますが、負け続けてしまうと、例えリードしていても、「また負けてしまうのではないか」と思ってしまい、悪循環に陥ります。

きっと仕事でも同じ。
仕事ができる人は、たとえミスがあっても、いかに挽回するかを真剣に考え、絶対に取り戻す自信が持てます。自信から出る空気というか、オーラというか、理屈ではなく感じるものも大切にしたいと気付かされました。

メールマガジン編集責任者 矢合 真弓
